

病理診断科 初期研修

◇ 研修目標および特徴

病理学的手法により臨床医学を検証し、治療法を論じられる [治療のための病理診断] と主疾患から派生して出現する各臓器の病変等が理解できるようになることを最終目標とする。

◇ 研修内容

指導医に従って、外科病理診断（生検、手術切除標本）、術中迅速診断の診断書作製および細胞診に関して研修を行う。また可能であれば病理解剖に参加し、最終病理解剖診断書を作成する。その他、各科との術前・術後検討会ならびに CPC に積極的に参加して、臨床的思考法や治療法のアプローチへの理解を深める。

◇ 指導スタッフ(卒業年度、認定医、指導医)

後藤 幸吉（平成17年卒、病理専門医、細胞診専門医）

森 秀夫（平成26年卒、病理専攻医）

◇ 診療実績（年間）、診療設備（平成30年度）

病理組織検査数；10,093 件/年、術中迅速診断検査数；449 件/年、
細胞診検査数；11,848 件/年および病理解剖は18 件でした。

◇ 週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	病理診断（迅速、細胞診を含む） 症例検討（マンツーマン指導）	病理診断（迅速、細胞診を含む）
火	病理診断（迅速、細胞診を含む） 症例検討（マンツーマン指導）	病理診断（迅速、細胞診を含む）
水	病理診断（迅速、細胞診を含む） 症例検討（マンツーマン指導）	病理診断（迅速、細胞診を含む） 臨床病理検討会
木	病理診断（迅速、細胞診を含む） 症例検討（マンツーマン指導）	病理診断（迅速、細胞診を含む） 臨床病理検討会
金	病理診断（迅速、細胞診を含む） 症例検討（マンツーマン指導）	病理診断（迅速、細胞診を含む）

◇ 専門医、認定医、教育病院など学会の指定状況

日本病理学会・日本臨床細胞学会の教育認定病院であり、病理を学ぶ方には十分な症例に恵まれています。また当科は大阪大学医学部病態病理学教室と協力関係にあり、同教室はじめ関連病院との交流も活発で、専門分野への道も開かれています。